

令和３年度第１回大津町総合教育会議会議録

場所 大津町役場３階 会議室３０２ＡＢ

１ 開会及び閉会に関する事項

開 会 令和３年１１月２６日（金） 午前１０時

閉 会 令和３年１１月２６日（金） 午前１１時４５分

２ 出席した構成員の氏名

|                  |        |
|------------------|--------|
| 大津町長             | 金田 英樹  |
| 大津町教育委員会教育長      | 吉良 智恵美 |
| 大津町教育委員会教育長職務代理者 | 中尾 精一  |
| 大津町教育委員会委員       | 斎藤 陽子  |
| 大津町教育委員会委員       | 津留 武芳  |
| 大津町教育委員会委員       | 寺下 早苗  |

３ 構成員及び傍聴人を除く外、会議に出席した者の氏名

|                          |        |
|--------------------------|--------|
| 総務部長                     | 藤本 聖二  |
| 教育委員会教育部長                | 羽熊 幸治  |
| 健康福祉部長兼新型コロナウイルス感染症対策室長  | 矢野 好一  |
| 教育委員会教育部次長               | 平岡 馨   |
| 教育委員会教育部学校教育課長兼教育支援センター長 | 村山 博徳  |
| 教育委員会教育部生涯学習課長           | 荒牧 修二  |
| 健康福祉部子育て支援課長             | 大隈 寿美代 |
| 総務部総合政策課長                | 木村 欣也  |
| 総務部総合政策課審議員              | 濱洲 大輔  |
| 教育委員会教育部学校教育課審議員兼指導主事    | 原 雄二   |
| 健康福祉部子育て支援課審議員           | 郷 春美   |
| 健康福祉部子育て支援課審議員兼大津保育園長    | 村上 小百合 |
| 健康福祉部子育て支援課審議員兼大津幼稚園長    | 坂本 ユミ  |
| 総務部総合政策課主幹兼総合政策係長        | 山田 和之  |
| 教育委員会教育部学校教育課施設係長        | 宇都宮 明子 |
| 教育委員会教育部学校教育課学務係長        | 桐原 智之  |

４ 傍聴人の有無

無し

５ 協議題を提出した者の氏名

①大津町教育の大綱について

（山田主幹）

②児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置について

（山田主幹）

- ③今後の児童生徒数と校区のあり方について (村山課長)
- ④ＩＣＴ教育の推進について (村山課長)
- ⑤英語教育の充実について (原審議員)
- ⑥大津町の歴史文化振興及び歴史文化伝承館について (荒牧課長)
- ⑦幼児教育の質的向上及び小学校教育との円滑な接続について (大隈課長)
- ⑧その他

## 6 質問及び討論

### ①について

無し

### ②について

無し

### ③について

意見・質疑 校区のあり方についてお尋ねとお願いです。小学校区は学校教育課長からも話がありましたが大切な部分で、地域の方の思いが校区それぞれで違うと思います。子どもたちが安心安全、楽しく学校に通えるという部分は変わらないと思いますが、今後、校区の子どもたちの人数が変わってくるという状況の中で、統廃合等の話については、地域の皆さんの意見を十分に聞いて取り組んでもらいたいと思います。

次に、各小中学校の校舎、施設整備については、それぞれ時期的に計画しながら大規模な改修や修繕等が行われています。施設整備が出来ている学校の子どもたちは、老朽化した施設で勉強する子どもたちより広い空間での勉強や遊び等ができています。その中で不公平感が出ないように対応していただいていると思いますが、計画を少しでも早く実施していただけるようお願いします。子どもたちが安心して通える取り組み、方向性をお尋ねします。

答弁 校区のあり方については、今後の児童生徒数の推移等、数年後先まで見込まれる状況を地域の皆さんと情報を共有しながら意見交換の場を作っていきたいと思います。学校施設についても近年整備を進めています。南小学校区についても個別施設計画の中にスケジュールを組んでいるので肅々と進めていきます。突発的に対応が必要になる部分についても取り組んでいきます。

意見 現在ＰＴＡの会議が十分に開催出来ていないと思います。そのため、会長のみに負担がかかり決断するようなことが無いように進めていただきたいと思います。また、こうなるみたいだよと話を聞いて不安になる保護者もいるため、そのようなことが無いようにお願いします。

意見 校区の再編等については子どもたちを中心に考えていく必要があると思います。例えば、小規模校に行きたくないから引っ越しをする子どもや複式学級になることで学校の運営方法が変わるなどの話もありますので、結論ありきでない議論が必要になると思います。一方で、もちろん、校区人口を増やすことが一番良い出口であり、地域振興とあわせて考える必要があると思います。また、人の増え方については都市計画とも結びついてくると思うため、町としての都市計画を見据えながら描

いていく必要があると思います。

④について

質疑

教材蓄積サーバーの導入検討について、外部評価委員会でも導入が必要という意見がありました。そのことが、教育の質の向上や先生方の働き方改革にも繋がるということでしたので、出来るだけ早く導入の検討が必要だと思います。導入する場合の経費についてお尋ねします。

答弁

まず、レンタルサーバーかクラウドを活用するかの検討が必要になります。クラウドを活用する場合は、先生方が自宅でもチェック等が可能になると思います。サーバー自体は高額ではないと思います。

意見

スタディログ（学習記録）等は、現場の先生から今のシステムでは子どもたちの習熟度や正解間違いが一括して見えにくいという話がありましたので、それを担任の先生あるいは教科の先生が把握できてサポートできる体制にしていきたいと思います。また、ある学習教材ですが、子どもたちが自分で問題を解いて失敗した問題の関連問題がＡＩで生成される等、子どもたちもある意味ゲーム感覚で取り組めるようなシステムになっており、先進自治体も多いことから、そういったところにも目を向けていきたいと思います。また、その中で大津東小学校の小規模特認校制度を希望する人が少ないという話がありましたが、まだまだ特認校としての特異性、ユニークさが出し切れていない印象があります。そうした中で小規模校から先行して取り組んでいくようなやり方もあると思います。指導者等の問題もあるため簡単にはいかないと思いますがそういった検討もできればと思います。

１０１の具体策にある「より高い教育効果」が認められている教育手法の導入については、中室牧子先生の「学力の経済学」という本の中にもあるように、小中学校で教育に関する投資をするよりも幼児教育に力をいれたほうがより学力面での向上が見込めるという話もあります。教育委員会の立ち位置がそこでどうなるか難しい部分もありますが、町全体としてあり方を考える必要があると思っています。

また少人数教育についてもかなりコストがかかりますが、海外等の実験では投資に対して学力向上、底上げの解消に繋がっていないとの数字もありますので、同じお金を使うときにどこに投資していくと子どもたちのためになるか、データ収集や先進地を研修しながら研究を進める必要があるのではないかと思います。

教材蓄積サーバーについては、町内で共有することも重要ですが、全国、県内全域とも連携しつつ、また、既存のコンテンツを活用することも大切かと思います。

意見

ＩＣＴ化については、早急な町の支援のおかげで県内でもトップクラスの環境が整ったことについて大変ありがたく思います。先般、学校訪問の中で、子どもたちが違和感なくタブレットで学習ができていた状況でした。先ほど教員のスキル向上の話もありましたが、せっかく作っていただいた環境ですので、これを活かしていただくには先生方の頑張りが必要かと思っています。最後の説明にもありましたとおり、引き続きＩＣＴ支援員の予算化をお願いします。

次に、キャリア教育との連携について、大津町の子どもたちの将来の活躍とあわせて、大津町に対して愛情を持って帰ってきていただき、そして活躍していただく

状況を作っていたらと思います。

#### ⑤について

意見

保護者間でも英検の受講者が少ないことを聞いています。すべての生徒が受検できるようにすると皆頑張れるのではないかと思いますので、補助をしていただけることについてありがたく思います。先日、大津北中学校の英語の授業を拝見して生徒達が英語を話す様子を見ましたが、そのような子どもたちが大津町でたくさん育ってくれると嬉しく思います。

意見

英語力を何のために高めるのか、また英語教育を何のために行うのか、自分たちもそうですが保護者の理解を高める努力も必要だと思います。以前は海外で働かないから英語は関係ないという子どもが多かったです、現実はそのような子どもたちが海外で働き、また、最近は農業や工業でも海外から人が入ってくる中で日本にいても英語を使い、英語を使えないことがハンディキャップになる時代がくると思います。高校や大学の入試、また就職においても英語を重要視するところもあり、将来を見据えて英語力を伸ばしていくという視点も大事になると思います。英検受検に対する補助制度の充実等については、英検が語学力、英語力を伸ばす最も良い手法なのか、違う手法があるのか、また英検の受検時期を中学1、2、3年生のいずれの時期に行うほうが効果的なのか、もう少し検討の余地があると思います。

#### ⑥について

意見

ホームページの更新について、見にくいという意見を多くいただいていますので、ぜひ見やすい画面への更新をお願いします。また、動画で分かりやすくしたほうがいいのではないかという意見もありますのでぜひ取り組んでもらいたいと思います。ボランティアガイドの育成について、QRコードという話もありましたが、QRコード内にガイドが話す動画を入れることもできますので、ぜひそのような取り組みをお願いします。

意見

ホームページについては分かりにくく難しいと感じています。正確に伝えることと「分かりやすく多くの層に伝える」ことは必ずしも両立しえないため、もう少し見てもらえる発信の仕方が必要かと思います。歴史文化伝承館については、期間を定めてテーマごとに展示を行うことで何度も来てもらうことや、その時に興味を持って来てくれた方に他の展示物も見てもらおう等の仕掛けが必要かと思います。

#### ⑦について

意見

資料にはすべての子どもたち、一人ひとりの児童生徒ということを書いてあります。療育関係の保護者と話をする機会があり、色々な思いを聞いています。一人ひとりという部分を十分に考えていただき、小学校にも同じように繋いでいただきたいと思います。

意見

就学前の教育がその後の生活に影響を与えるという話がありましたが、その通りだと思います。就学前の行事に、校長先生や教頭先生が代表で見に行くことが多いと思いますが、ぜひ小学校低学年の担任クラスの先生に見てもらいたいと思います。

保育園幼稚園で年長として頑張ってきた子どもたちとの小学校 1 年生からの関わり方がとても重要だと感じました。

意見

接続期カリキュラムや育ちのステップの認知度を高めるため、発信の仕方を考えていく必要があると感じています。幼児教育についてはその重要性や関わり方について、町としてのセミナーや講演会ができればと思います。